

◆当面する重点作業について

- 側枝、種枝の誘引、結束作業の見直し点検を実施する。
- 休眠期防除（耕種的管理・薬剤散布）を徹底する。
特に「シャインマスカット」「クイーンルージュ®」は黒とう病に弱いので注意する。
植えたばかりの苗木でも感染するので散布をしっかりと行う。
幼木で感染すると主幹・主枝の形成に大きく影響してしまうので注意する。
越冬源の巻きひげや病斑をもう一度見回って除去する。
- カイガラムシ類・クビアカスカシバ対策として、特に丁寧に主幹・主枝の粗皮剥ぎを実施する。
- ブドウトラカミキリ・ブドウスカシバの被害枝を剪除し、焼却又は土中に埋める。

◆第1回薬剤散布について

- 散布時期：3月28日(土)～4月3日(金)頃

実際散布月日	月	日
--------	---	---
- 使用薬剤（混用順記載）※調合量950当り・10a当り散布量：2000以上

農薬名	使用倍率	調合量	収穫前	病害虫
展着剤	10,000倍	10ml	—	—
石灰硫黄合剤	20倍	50	発芽前	ブドウハモグリダニ・ブドウサビダニ

- 散布上の留意事項
 - ミツバチを導入する地区では、ミツバチの導入（開花）前までに散布を終わらせる。
 - ブドウハモグリダニの発生が心配される場合は、石灰硫黄合剤を10倍（水900に100）で使用する。
 - 黒とう病・晩腐病の発生が多い場合は、ベンレート水和剤200倍（水950に500g）を加用散布する。なお、ベンレート水和剤は溶けにくいので、ぬるま湯で溶かし直前に加用する。